



第 49 期 中間報告書

平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日

MOBILE SPACE by 三協フロンテア

基本理念

目的（存在理由）

社会への貢献

わたしたちは
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、
よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観（不変の主義）

1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々^{*}に対し、
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

*「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

10年ビジョン（2008年4月～2018年3月）

技術力と収益力において

世界一のモバイルスペースメーカーになり、
資源循環型ビジネスにより社会へ貢献する。

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第49期中間(平成29年4月1日～平成29年9月
30日) 報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間(当上期)における日本経済は、
個人消費の増勢が加速し、好調な企業業績を受けて設備投資
は堅調に推移するなど、景気は緩やかに回復しつつあります。
米国の金融政策正常化や北朝鮮リスクなど不透明な問題は
あるものの、国内需要は、雇用所得環境の改善などにより、
今後も底堅く推移するとみられます。

ユニットハウス業界においては、補正予算の執行などによる
公共インフラの補修補強工事の活性化や、東京五輪の関連
施設工事や都市部の再開発などにより建設投資は需要の

高い状態が続いている一方で、資材購入価格の上昇や建設
労働者の人材不足が顕在化していることが危惧されてお
ります。このような状況の中、当社の主力製品であるユニ
ットハウスは、工期短縮や建築コストの抑制が可能な工業
化建築物としてますます市場優位性を発揮しております。

「必要なとき、必要なだけ、必要な空間を提供する」
ことにより、当社のユニットハウスは従来の仮設建築市場
のみならず、本建築市場、不動産市場にまでその優位性
を十分に発揮できるものと確信しています。“建築の工業
化”という当社のコア技術をさらに高めていくことにより、
新たな市場の開拓を図っていく所存です。

今後も創業当時から受け継がれてきたフロンテアスピリ
ッツ（開拓の精神）を原点に、社会に貢献する会社を目指
し、情熱を持って活動してまいります。

当上期の業績について

ユニットハウスのレンタルにおいては、堅調な民間建設
投資の影響と、東京五輪の関連施設工事や都市部の再開
発など大型案件の受注活動に積極的に取り組むことにより、
出荷棟数・稼働棟数ともに高い水準で推移しました。また、
デザイン性や機能性をさらに高めることで、イベントや建
替時の仮施設など本建築市場におけるレンタル受注拡大
に努めました。

ユニットハウスの販売においては、3F建てや大型連棟
が可能な新製品「MS1」が本格的に導入されたことにより、店

舗・一般事務所といった本建築において大型物件の受注
が大幅に増加しました。また、旺盛な需要に対応するため、
全国的に設計・施工協力会社のネットワーク拡充に努め、
受注体制をさらに強化することで、より一層の収益の拡大
に努めました。

トランクルームのレンタルにおいては、WEB広告を強化
するなど稼働率の向上を図り、既存店の収益力改善に努
めました。

上記の結果、当上期の連結売上高は18,577百万円(前
年同期比0.7%増)となりました。

利益面においては、営業利益2,347百万円(前年同期
比19.6%減)、経常利益2,334百万円(前年同期比20.1%
減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,368百万円
(前年同期比10.0%減)となりました。

今後とも、リユース可能なユニットハウスの特長を活か
し、期間限定で空間を必要とするニーズを開拓し、業績
の拡大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご
指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

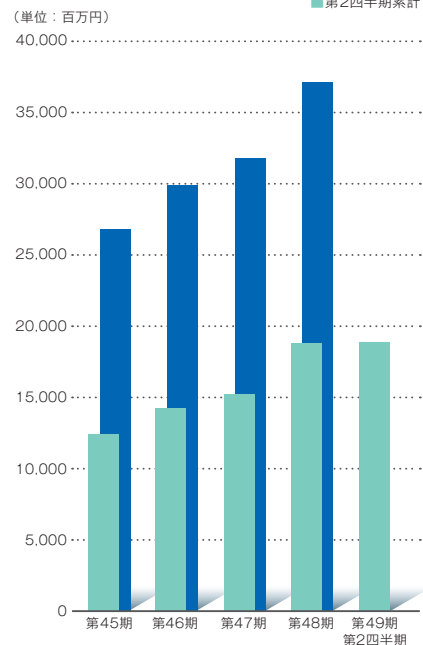
平成29年12月
代表取締役社長 **長喜貴嗣**

業績ハイライト(連結)

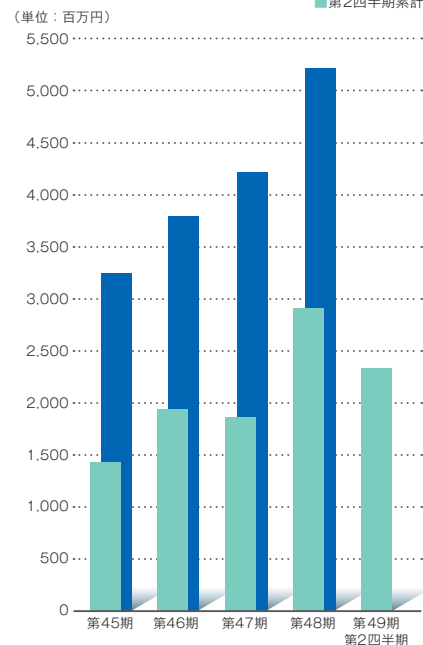
区分	期別	第46期 (平成27年3月期)	第47期 (平成28年3月期)	第48期第2四半期 (平成29年3月期)	第48期 (平成29年3月期)	第49期第2四半期 (平成30年3月期)
売上高(百万円)		29,844	31,803	18,445	37,194	18,577
経常利益(百万円)		3,793	4,205	2,920	5,208	2,334
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益(百万円)		2,273	2,567	1,520	3,087	1,368
1株当たり 四半期(当期)純利益(円)		102.27	115.48	68.42	138.89	61.57
総資産(百万円)		51,906	52,958	54,559	55,537	56,199
純資産(百万円)		23,101	24,862	25,936	27,121	28,056

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っておりますが、上記、1株当たり四半期(当期)純利益は、株式併合考慮前になります。

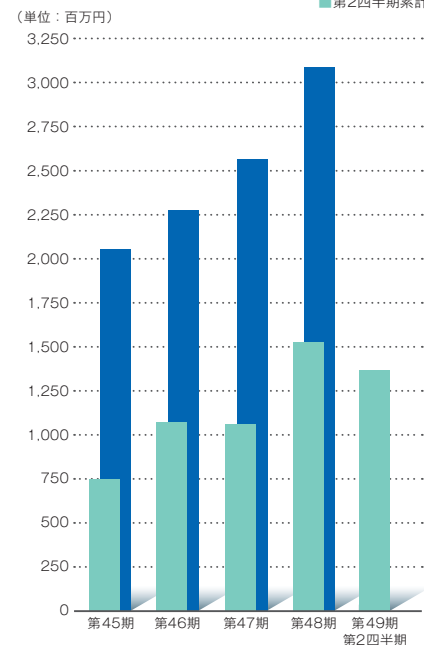
売上高の推移



経常利益の推移



親会社株主に帰属する 当期純利益の推移



免責条項 本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

各事業の概況

ユニットハウスのレンタル

1日からでもレンタル可能。
建設現場からイベント、仮設住宅まで。
必要な期間に最適な空間を提供します。

ユニットハウスのレンタルについては、東京五輪の関連施設工事や都市部の再開発など大型案件の受注活動に積極的に取り組みました。また、デザイン性や機能性をさらに高めることで、イベントや建替時の仮施設など本建築市場におけるレンタル受注拡大にも努めました。

これらの結果、当上期のレンタル料収入は10,185百万円(前年同期比9.8%減)となりました。

今後も、建設現場向けのシェア拡大と新たなレンタル需要の創出を目指し、新規顧客獲得に向けた営業を強化していきます。



建設現場事務所



住宅販売事務所

ユニットハウスの販売

オフィス、店舗、教育・保育施設、倉庫など
全国のさまざまなシーンで
ユニットハウスが活躍しています。

ユニットハウスの販売については、3F建てや大型連棟が可能な新製品「MS1」が本格的に導入されたことにより、店舗・一般事務所といった本建築において大型物件の受注が大幅に増加しました。

これらの結果、当上期の販売売上高は8,121百万円(前年同期比18.9%増)となりました。

今後も市場ニーズに合わせた製品開発に取り組むとともに、展示販売の強化や販路の拡大を推進していきます。



会社事務所



会社休憩スペース

Topic 1 手賀沼花火大会にてサニタリーユニットを提供

千葉県柏市・我孫子市にて毎年開催される手賀沼花火大会に、当社のサニタリーユニットを提供しました。

当社の企業理念の一つである「社会貢献」に関わる活動の一環として、2017年8月5日(土)に行われました「手賀沼花火大会」にモバイルサニタリーユニットを8棟提供しました。手賀沼花火大会は柏市・我孫子市民をはじめ約41万人もの人々が参加する人気のイベントです。

例年、花火大会には簡易水洗式の仮設トイレを多数導入していましたが、来場客の方からは「狭い」「汚い」といったご不満の声がありました。その中で、特に女性が浴衣を着て安心して花火大会を楽しんで欲しいとの想いから、新製品であるサニタリーユニットを柏市に提案したところ、柏市と共

同プロジェクトの一環としてテスト的に設置することになりました。

柏市や柏市商工会議所の関係者の方々のご協力により、サニタリーユニットを無事に納入することができ、花火大会当日にはたくさんの方に利用していただきました。利用者の方からは「綺麗」「清潔」「子供連れでも安心」といった多くのありがたいお言葉をいただきました。今回の様な地域貢献活動を今後もさらに活発に行い、ステークホルダーの皆様に信頼される会社を目指していきます。



Topic 2 新製品 MS1 販売開始

昨年度よりレンタルで提供してきた新製品「MS1」を、今期より販売にて提供を開始しました。

新商品「MS1」は、3F建てやサイズの違うハウス同士での連棟が可能であることから、案件規模の拡大化や間取りの複雑化にも対応できる製品になります。今期より販売を開始し、お客様のさまざまなご要望に対応しております。その中で、当社のハウスを従来からご利用いただいているお客様から、新たに敷地の形に合わせて、無駄なく会社事務所を新築したいというお話をいただき、MS1をご提供したところ、お客様からは、「MS1が販売開始される4月まで建築を待って本当によかった。従来のハウスと比べると、非常に頑丈だし、断熱性能も格段に上、デザインもいいし、このハウスであれば、皆さんに自信を持ってお勧めできる」等、お褒めの声をいただいております。今後もMS1の特長を活かし、本建築販売の受注拡大を目指してまいります。



Topic 3 イベント展示会に当社のMS1を出展

幕張メッセにて開催されたイベント総合展示会「イベント総合 EXPO」にMS1を出展しました。

2017年5月31日(水)～6月2日(金) 幕張メッセにて開催された、日本最大級のイベント総合展示会「イベント総合 EXPO」に出展いたしました。本展では、『快適なイベント空間』をコンセプトに、エアデッキの付いた57MS1桁2連棟を展示し、特別で快適な空間を演出しました。本設レンタル事業の主要顧客であるイベント関係者様をはじめ、東京オリンピック組織委員会の方々からも好評を得ることができました。今後もニーズの高まるイベント業界に向けて、PR活動を続けてまいります。



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	第49期第2四半期 (平成29年9月30日)	第48期末 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産	14,664	14,331
現金及び預金	4,651	4,491
受取手形	1,189	1,057
営業未収入金	4,142	4,118
売掛金	1,605	1,684
棚卸資産	2,542	2,460
その他	555	537
貸倒引当金	△21	△18
固定資産	41,535	41,205
有形固定資産	39,771	39,664
レンタル資産	22,609	22,350
建物及び構築物	5,068	4,924
土地	9,605	9,608
その他	2,487	2,779
無形固定資産	263	265
投資その他の資産	1,500	1,275
資産合計	56,199	55,537

(単位:百万円)

	第49期第2四半期 (平成29年9月30日)	第48期末 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債	19,160	15,962
支払手形	491	373
電子記録債務	5,978	5,194
買掛金	1,153	1,160
短期借入金	5,368	2,525
未払費用	1,796	2,146
未払法人税等	1,025	937
賞与引当金	430	425
その他	2,917	3,199
固定負債	8,982	12,452
長期借入金	6,565	9,826
役員退職慰労引当金	102	100
退職給付に係る負債	1,013	989
その他	1,302	1,537
負債合計	28,143	28,415
純資産の部		
株主資本	28,047	27,123
資本金	1,545	1,545
資本剰余金	2,776	2,776
利益剰余金	24,039	23,115
自己株式	△314	△314
その他の包括利益累計額	8	△2
その他有価証券評価差額金	9	7
為替換算調整勘定	51	57
退職給付に係る調整累計額	△52	△66
純資産合計	28,056	27,121
負債純資産合計	56,199	55,537

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第49期第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	第48期第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	18,577	18,445
売上原価	11,226	11,071
売上総利益	7,350	7,373
販売費及び一般管理費	5,003	4,455
営業利益	2,347	2,918
営業外収益	38	52
営業外費用	51	50
経常利益	2,334	2,920
特別利益	—	13
特別損失	14	420
税金等調整前四半期純利益	2,319	2,514
法人税等	951	993
四半期純利益	1,368	1,520
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,368	1,520

四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	第49期第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	第48期第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,368	1,520
その他の包括利益	11	△56
四半期包括利益	1,379	1,464

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第49期第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	第48期第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,866	1,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△406	△376
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,298	△627
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△28
現金及び現金同等物の増減額	159	241
現金及び現金同等物の期首残高	4,311	2,633
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,471	2,875

企業の概要 (平成29年9月30日現在)

商号	三協フロンテア株式会社
本社所在地	〒277-8539 千葉県柏市新十余二5番地
資本金	15億4,545万円
代表者	代表取締役社長 長妻 貴嗣
設立	1969年12月5日
事業内容	1. ユニットハウスの製造・販売・レンタル 2. トランクルームの製造・販売・レンタル 3. 立体式駐車装置の製造・販売・レンタル 4. 植物工場の製造・販売・レンタル
役員	代表取締役社長 長妻 貴嗣 常務取締役 端山 秀人 取締役執行役員 三戸 茂夫 取締役執行役員 藤田 剛 取締役執行役員 小嶋 俊一 常勤監査役 村井 康之 監査役 上田 俊郎 監査役 山崎 直人 監査役 石黒 博

特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-26)第18154号
一級建築士事務所登録 千葉県知事登録1-1704-1483号

株式の状況 (平成29年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	60,000,000株	
発行済株式の総数 (うち自己株式1,130,592株)	23,356,800株	
1単元の株式の数	1,000株	
株主数 (平成29年3月末比21名増) <small>※単元未満株主を含む</small>	1,537名	
大株主		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)和幸興産	11,233	50.54
長妻 貴嗣	3,314	14.91
長妻 和男	648	2.91
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	462	2.07
三協フロンテア従業員持株会	311	1.40
三菱UFJ信託銀行(株)	200	0.89
(株)千葉銀行	195	0.88
長妻 幸枝	180	0.81
資産管理サービス信託銀行(株)	163	0.73
日本生命保険相互会社	162	0.73

(注) 1. 当社は自己株式を1,130,592株保有していますが、上記大株主からは除外しています。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

単元株式数の変更・株式併合に関するご案内

適切な投資単位水準への調整を目的として、2017年10月1日付で、単元株式数を1,000株から100株に引き下げるとともに、株式併合(2株を1株に併合)を実施いたしました。なお、株主の皆様におかれましては、特段の手続きは不要ですので、念のため申し添えます。

※上記株式の状況は株式併合考慮前になります。

株主メモ

事業年度
4月1日～翌年3月31日

定時株主総会
毎年6月

期末配当金受領株主確定日
3月31日

中間配当金受領株主確定日
9月30日

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

公告の方法
電子公告 (URL <http://www.sankyofrontier.com/>)
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

上場証券取引所
東京証券取引所 JASDAQ スタンダード

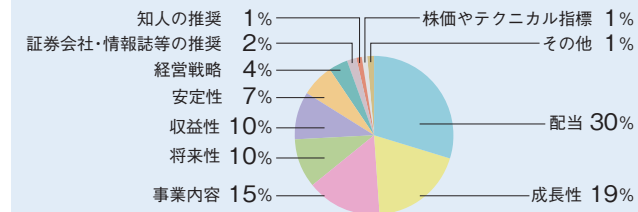
(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

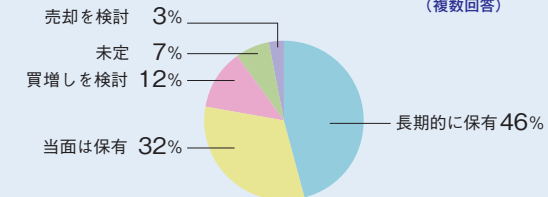
アンケート結果のご報告

「第48期 年次報告書」で実施した株主様アンケートの集計結果をご報告します。169名の株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。株主の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の経営方針やIR活動の参考にしてまいります。

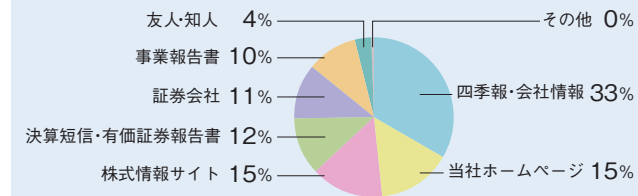
Q1 当社の株式を購入された理由をお聞かせください。 (複数回答)



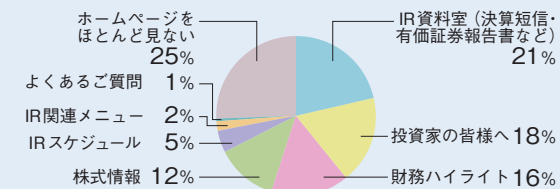
Q2 今後の当社の株式保有についてお聞かせください。 (複数回答)



Q3 当社に関する情報の入手先を教えてください。 (複数回答)



Q4 当社ホームページのIR情報の中でよく見る内容を教えてください。 (複数回答)



広島工場

稼働開始!!

広島工場は、中国・四国地域の需要に応えるため、広島物流センター内に工場設備を新設し、2017年4月より稼働を開始しました。敷地面積は、物流センターも含め約6,000坪を有しております。広島工場は宮島(厳島神社)で有名な廿日市市にあり、廿日市インターにほど近い、工業団地内にあります。四国にも近い立地であり、愛媛県・香川県などの出荷にも対応しております。現在、広島工場では、主として新製品MS1や倉庫型のミニハウスの組立を実施しております。今期は、愛媛国体の開催に伴い、工場もフル稼働しました。今後は新製品の組立を強化して、月200棟の生産を目指し、当期中には本格的に体制を整える予定です。



工場内部



工場外観



工場内部



当社ホームページのご案内

今後とも、事業報告書やホームページの充実を図り
株主の皆様方へ分かりやすい情報提供を心がけてまいります。

<http://www.sankyofrontier.com/>

三協フロンティア株式会社

本社 / 〒277-8539 千葉県柏市新十倉二五番地 TEL: 04-7133-6666 (代)

